

## 卒後研修委員会

### 指導医、研修医との

### 「交流会」を開催して

卒後研修担当理事 片岡晃哉

平成16年度から新卒後研修制度が開始されました。

北区医師会では、病診連携の一つとして北区内の臨床研修指定病院（北野病院、済生会中津病院、住友病院）の研修医の地域医療研修に積極的にかかわってきました。以後、大きなトラブルもなく経過してきました。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染症により、大きく様変わりしました。

まず、毎年3月初めに行われている研修医の地域医療研修のオリエンテーションが開催できませんでした。その後も、実際の地域医療研修ができない日々が続きました。秋になってようやく少しずつ開催できるようになりました。

北区医師会で毎年開催している指導医、研修医との「交流

会」は、府医で開かれた指導医と研修医の交歓会を参考に平成19年度から開催されています。

今年度は開催が危ぶまれましたが、医師会と研修指定病院ともしっかり議論していただき、結果として開催することができました。

令和2年10月31日（土）学術講演会の後、アンピールホテル大阪（山西福祉記念会館）にて研修医、病院の指導医、診療所の指導医が集まり開催しました。

人が集まるのか心配をしましたが、むしろ例年より多い計47名の参加がありました。

当日の出席者（敬称略） 47名参加

北区医師会長

田淵義勝

研修医

大植薫、熊谷陽介、杉山純平、酒井

達紘、塚原堯、岩阪晋吾、大島正

義、大堂真一郎、羽生敬、中川隆太

郎、松村誠紀、喜多村恭平、伊丹久

実、本村公則（以上、北野病院）

浅田紘輔、川崎友暉、川端祥太、楠下萌、新堂りな、丸山紗季、山田いづみ、青木仁美、岩本真佳、岡田誠央、岸裕貴、宮部渉平（以上、住友病院）  
 海陸吉貴、河瀬順厚、北村知也、千代梨世、西村直緒己、安場遥香、矢間翔大、米澤尚汰、小路侑果、谷口洋樹、真殿花梨、山中大樹（以上、大阪府済生会中津病院）  
 足立健彦、塚本達雄（北野病院）山本浩司（住友病院）安井良則（大阪府済生会中津病院）  
 大原裕彦（大原クリニック）本出肇（本出診療所）  
 片岡晃哉（兵田クリニック）  
 宮川康（住友病院）

例年は、研修医の発表後立食パーティー形式で和気あいあいとした時間を過ごしていましたが、今年度は会場での食事提供は無くし、その代わりに研修医による地域医療研修の発表の後、研修医全員に一人ずつコメントをいただく形式をとりました。病院指導医や診療所指導医からもコメントがあり、全員に発言の機会があったことは良かったと考えています。

「交流会」開催に先立っては、北区医師会の理事会で済生会中津病院の安井良則先生から「複数の人がマイクを使うときは

マイクを持たないようにする」という注意喚起を示されました。「交流会」で参加の皆さんにマイクを触らないようお願いをしました。思わず触りかけて周りの人から笑いが出る一幕もありました。帰り際に会場の外で持ち帰り用弁当を配り今年度の「交流会」を終了しました。

なにはともあれ、「交流会」が開催できたことをありがたく思っております。北区医師会長をはじめ医師会の役員、議題を病院に持ち帰って病院全体で考えてくださった病院の指導医のかたがたに感謝いたします。

話は変わりますが、毎年、大阪府医主催の大阪府臨床研修制度推進委員会が開催されており、私も診療所からただ一人参加させてもらっているのですが、今年度の開催は中止となり、大阪府医師会主催の「指導医のための教育ワークショップ」も中止になりました。北区医師会ではこの「指導医のための教育ワークショップ」の参加費用を病院、診療所にかかわらず補助しておりますので、来年度再開されるようでしたら利用していただきたいと存じます。来年度新型コロナウイルス感染症がどのようなになっていくか分かりませんが、これからの医療を担っていく若い研修医たちに少しでも役に立てたらと願っています。診療所の医師会員の先生方にも一日だけというパターンもありますので、多くの参加をお願いします。

指導医・研修医との「交流会」

日時：令和2年10月31日(土)17:30～

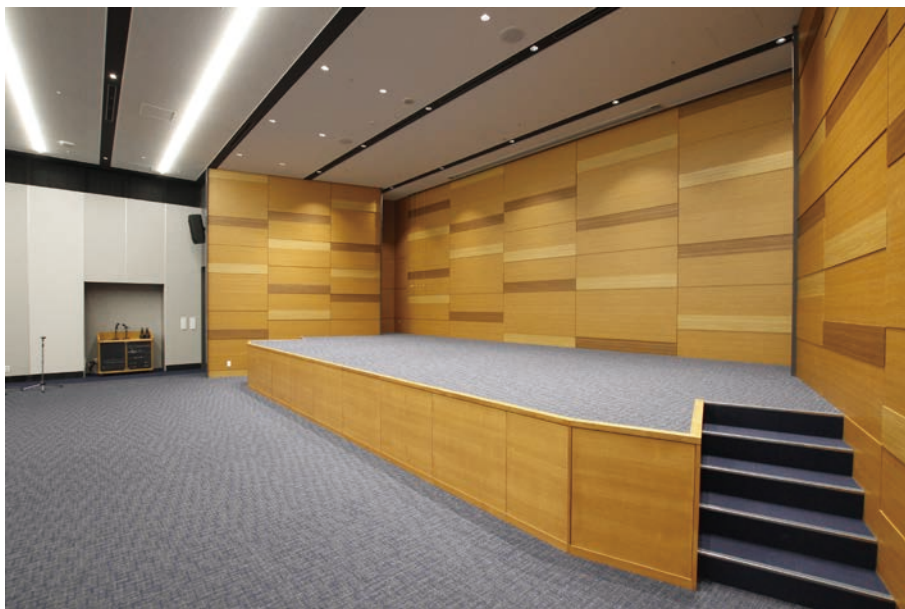
場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール



指導医・研修医との「交流会」

日時：令和2年10月31日(土)17:30～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール



北野病院新館きたのホール

## 【卒後研修の感想】

### 地域研修報告

北野病院2年次初期研修医 村田直矢

2020年8月、初期研修で定められた地域医療研修として、北区を中心とした4つの診療所にて研修させていただきました。特に今年度の研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で普段にも増して受け入れが困難な時勢の中、ご協力いただきました先生やスタッフの皆様方に御礼申し上げますとともに、ここに報告させていただきます。

当院のプログラムでは1ヶ月間、曜日ごとに異なる診療所にて研修させていただくことになっており、私は北区から米内科胃腸科様、インフュージョンクリニック様、西木診療所様にご協力いただきました。加えて淀川区の磯貝内科様にもご協力いただきました。

研修内容は主に外来診療や処置の見学であり、さらには患者さんのご自宅や老人ホームへの訪問診療も経験させていただきました。いずれの研修も普段の急性期病院での研修とは大きく異なり、大変貴重な経験となりました。外来診療で特に印象に残っていることは、初診の患者さんを診療する際、丁寧な問診

と確かな身体診察で、的確な診断・治療方針の決定をされていたことです。その場ですぐに行うことができる検査は、胸部レントゲンや心電図、超音波検査などに限られており、血液検査も大多数の項目は外注で、その日には結果が判明しないことがほとんどでした。普段、血液検査やCT・MRIなどの画像検査に頼って研修をしている私にとってそのような診療は大変新鮮でした。

また訪問診療では、2週間ぶりに会う先生のお顔を見て患者さんが心から喜んでおられたことが印象的で、たとえ病気と関係のない話であっても時間の許す限り丁寧に傾聴しておられました。そういった診療の姿勢が、患者さんとの良好な関係の構築に繋がりが、延いては医療の質の向上にも繋がっていくのだと感じ、地域に根差した医療を行なっていく上で、このような医師と患者の良好な関係が特に重要であることを学びました。

今回の地域医療研修を通して学んだことを活かし、検査ばかりに頼るのではなく、患者さんとの時間をしっかりと取り、丁寧な診療を心懸けることで残りの研修期間を有意義なものにしていきたいと思えます。最後にはなりましたが、この度はこのような貴重な研修の機会を与えてくださりまして、誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 地域研修報告

北野病院2年次初期研修医 杉山純平

2020年7月、初期研修で定められた地域医療研修として、北区を中心とした5つの診療所にて研修させていただきました。ご協力いただきました先生方やスタッフの皆様には御礼申し上げますとともに、ここに報告させていただきます。

当院のプログラムでは1か月間、曜日ごとに異なる診療所にて研修させていただくことになっており、私は北区から吉本診療所様、八杉クリニック様、本出診療所様にご協力いただきました。加えて城東区の山田内科医院様、天王寺区のごすぎ内科クリニック様にもご協力いただきました。

研修内容は主に外来診療や処置の見学であり、その他地域のかかりつけ医として往診や訪問診療も経験させていただきました。

研修において、「地域において行われている医療、福祉に対する社会的ニーズを認識する」、「地域医療に関する知識、技能、態度を身に着ける」、「患者を全人的に診ることの重要性を知る」、「病診連携の重要性を知る」の4つを目標として掲げさせていただきます。

実際の研修において、それぞれの病院に特色があり、多くのことを学びました。糖尿病診療に特化した診察、検査方法や、小児科の子供をいかに泣かせないようにするか、その知識や手技、消化器領域におけるエコーや内視鏡において、圧倒的な経験で診察、手技を進めていく先生、外国人診療にて、英語で診察を行うことの大変さ等、普段の研修ではなかなか学ぶことのないものばかりでした。そして、どちらの病院の先生方にも共通していたこととして、患者のみならず、生活環境や家族などの背景まで把握し、全人的な医療を施していたと感銘を受けました。

私自身の個人的な思い出として、一つは自分が過去に北野病院での救急において診察をさせていただいた患者様が、その時は緊急入院となったのですが、数週間後退院し、現在は地域のかかりつけの先生のところでもフォローを受けており、その様子を見ることができたことです。果たしてあの時の自分に、今後どのように地域でのフォローがなされていくか、想像できていたでしょうか。患者さん自身は私のことは覚えておられない様子でしたが、こうして地域の連携が存在しているということをも、身を以て実感することができました。

今回の研修を通して、地域医療に対し、「全人的な診療の基盤にある確かな医療技術」、「患者のみならず、背景まで把握する全人的な医療」、「継続的に患者を診続けていくという能力」、

「地域の連携が大事ということ」を学びました。

今回、地域研修をさせていただくことで自分が働く地域の開業医の先生方と密に関わらせて頂けました。日々の診療に欠かせない病診連携という側面も間近に感じられ、非常に多くのことを学ばせていただきました。先生方のご指導・ご協力により現在の病院研修をより深めることができました。

新型コロナウイルス感染症にて大変な中、このような機会を与えていただきありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 地域研修報告

住友病院 山田 いづみ

住友病院初期研修医二年目の山田いづみと申します。令和二年の八月、地域医療研修として、北区の大原クリニック、センブリッククリニックにて一ヶ月間研修を致しましたので、ご報告致します。

大原クリニックでは、院長の大原先生の外来に付いて患者さんの腎エコーをさせて頂いたり、尿沈渣の見方、IVPの検査方法などを教えて頂きました。普段の診療は単純CT検査に頼りがちで、昔からある検査手技には殆ど触れたことがなかったり、尿沈渣などの検査も検査技師さんをお願いしている私にとっては、非常に新鮮で貴重な経験でした。また、大原先生のご専門は泌尿器科ですが、その他の内科疾患や皮膚科疾患なども多岐に渡って診察されており、足白癬の検鏡やスキンケアの指導方法などについても学ぶことが出来ました。来年度以降は皮膚科専攻を志す私にとって、濃密で有意義な時間を過ごすことが出来たと考えております。さらに、大原先生は新型コロナウイルスの流行下にも関わらず、発熱患者さんも積極的に診察しておられ、しっかりと感染防御をして診察に臨むお姿に非常に

感銘を受けました。

センブリクリニックの千福先生は、東洋医学や漢方医学に非常に精通しておられ、西洋医学で完治しない症状を、漢方薬や鍼灸を使って魔法の様にあっという間に治していらつしやいました。慢性的な肩こりや倦怠感などに悩む患者さんが、鍼灸治療のあとには「すっかり良くなりました、先生ありがとうございます」と笑顔で帰って行く姿を見て、東洋医学の素晴らしさを実感するとともに、自身もいつか患者さんを笑顔に出来る様な治療が出来る様になりたいと感じました。診察の合間には、東洋医学の診察方法だけでなく、日常で遭遇しがちな整形外科疾患の診察方法や精神科疾患の患者さんへの接し方まで教えて頂き、非常に学びの多い時間となりました。COVID肺炎に罹患することを怖がる患者さんに対しても明るく接し、「必要以上に心配しないで、楽しく生活しなさい」と励まし続ける先生のお姿には、私も元気を貰うことが出来ました。

最後になりましたが、地域医療研修での経験は自身が今後臨床医として働いていくうえで非常に貴重な経験になったと感じております。新型コロナウイルス感染症の流行下にも関わらず、快く研修を受け入れてくださったスタッフの方々、ご指導頂いた先生方には、この場をお借りして御礼を申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 地域研修報告

住友病院 新堂 りな

住友病院初期研修医2年目の新堂りなと申します。私は令和2年12月の1か月間、地域医療研修として中村診療所、澤田内科医院、本出診療所、大阪New ARTクリニック、兵田クリニックで研修を行いましたので、その時の内容についてご報告させていただきます。毎週月曜日は中村診療所でお世話になりました。一般診療の前に上下部内視鏡や腹部エコー検査を勉強させていただきました。場所柄、働き盛りの社会人の受診が多く、一次予防、二次予防という面でも社会を支えていらつしやると感じました。中村先生は微生物学、病理学、救急、一般内科とバックボーンが広く、プライベートでもバレエダンスや音楽など多趣味だそうです。様々なお話を聞かせていただき私の知見も広がりました。火曜日は澤田内科医院でお世話になりました。新型コロナウイルス感染症の流行で大阪は緊急事態宣言が出されようかという時期でしたので、院内でも有症状者は動線が分けられ、例年とは異なる診療体制だったと思います。そのようなイレギュラーな中でも、必要な予防接種や産業検など企業と連携して診療されており、急性期総合病院では経験し



にくい診療を手伝わせていただきました。水曜は本出診療所で研修させていただきました。私が研修したのは駅ビルやオフィスタワー内の医院がほとんどで、来院するのも地域の人というよりは職場が近く働いている人が多い印象でしたが、本出診療所はその中では地元の人を対象にした地域医療の色が一番濃かったです。地元の人が日常の中で症状がでてきて受診し、急性期医療につなぎ、回復したらまた本出診療所に戻ってきて回復期医療、フォローを行うという流れを実際に体験できました。

木曜は大阪New ARTクリニックで研修しました。男女平等が叫ばれる中で女性の妊娠出産は生物学上避けられない問題であり、現代における不妊治療のニーズの高さを痛感する研修となりました。朝一番から採卵し、精密で高度な機械を使って受精卵を検査していく検査室は普段研修しているだけではなかなかみることができない設備で、貴重な経験となりました。金曜日にお世話になった兵田クリニックでは皆さん様々な部位に痛みと悩みを抱えて来院されていました。普段私が診療しているときから、「痛み」は主観的なので客観的なアセスメントをするのが難しいと感じていましたが、先生は麻酔科、リハビリ科、東洋医学などの知識から複合的にアプローチされていてとても勉強になりました。薬物治療だけではなく理学療法と合わせることで結果的に満足度の高い医療を実践されていました。最終日には私も日頃感じていた痛みについて診察していただき

ました。どの先生方からも熱心なご指導をいただき充実した研修となりました。最後になりましたが、この場を借りて御礼申し上げます。去年までは想像もできなかったパンデミックの中、研修を受け入れていただきありがとうございます。今後患者様の紹介などお世話になるかと存じます。引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。